

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりんのあくびkidsつるみ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合療法を取り入れており、ダイゴナルエアープリンやボルダリングなど大型遊具や平均台、バランスボールなどの教具が豊富である	毎日の遊具の配置を変えて飽きないように日々のプログラムを立案している	同系列の店舗と毎月会議を行いより良い支援ができるよう意見交換や作業療法士や言語聴覚士による研修を受け支援の質の向上を図っている
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングの開催や要望があり、開催に至っていない	ペアレントトレーニングを実施できる資格や訓練を受けた職員が不足していることや、専門的な知識やスキルが必要だが事業所に適切な人材が確保できていない	今後、ペアレントトレーニングの研修等情報共有を発信して参ります
2			
3			